Creative Enzymes®

ヒト由来カルボキシルエステラーゼ2、組換え

Cat. No. NATE-0812

Lot. No. (See product label)

はじめに

明	セリンエステラーゼファミリーのメンバーで、エステルおよびアミド結合を加水分解します。カルボキシルエステラーゼ2は、内因性のエンドプラズミックレチiculumに結合した加水分解酵素で、エステルを含む治療の解毒と活性化において重要な役割を果たします。カルボキシルエステラーゼ2は、ヘロインやコカインなどの物の解毒にも関与しています。この酵素は脂質代謝に関与していると考えられています。ヒトカルボキシルエステラーゼ2（hCE-2）は、大きなアルコール基と小さなアシル基を持つ基質を認識します。その基質特異性は、活性部位ポケット内の立体的干渉の存在により、アシル-hCE-2複合体形成の能力によって制限される可能性があります。カルボキシルエステラーゼは、アンジオテンシン換酵素阻害剤（テモカーピル、シラザプリル）、抗腫瘍（カペシタビン）、および麻など、いくつかのエステルを含む物および前の生体内換を触媒します。
別名	EC 3.1.1.1; カルボキシルエステラーゼ 2; CES2; CES2A1; CE-2; PCE-2; iCE

製品情報

種	人間
由来	マウス NSO 細胞
形態	塩化ナトリウム、酢酸ナトリウム、20%グリセロールを含む溶液として供給されます。
EC番号	EC 3.1.1.1
CAS登番号	9016-18-6
分子量	~60 kDa
純度	>95% (SDS-PAGE)
活性	>30,000 (pmol/min/μg)
濃度	0.4 - 0.6 mg/ml

保管・発送情報

保存方法	-70°Cで保管してください